

●全国一般東京労組メトロセルビス分会 都営地下鉄とメトロの 清掃労働者交流が続く

六月四日、全国一般東京労組メトロセルビス分会は自治働くナショナルセンターが異なる都営地下鉄と東京メトロの清掃労働者が交流を深めた。春闘報告集会に招待された。



三年連続して春闘報告・交流会

当日は、メトロセルビス分会から小杉分会長と伊藤組合員が、全労協から渡邊議長と関口事務局長、東京全労協から本木事務局長、東京労組から中村委員長と中原副委員長が参加した。

駅舎清掃分会菅野分会長と東京交通協会の菅野上村委員長から25春闘報告が行われた。菅野分会長からはメトロセルビスに追いつけ追いつけ

と、賃金や労働条件を比較した一覧表による説明が行われた。特にメトロセルビスと異なる点は年間休日と年収だが、週休二日制が実施されず休日が二十六日も少ないこと、年収の差は手当(家族・住宅・トイレ手当)にあることを指摘し、組合員に怒りを

三人の看護師である組合員が、社会福祉法人三篠会(本部は広島県)傘下の大阪府堺市立重症心身障害者(児)支援センター「ベルデさかい」(大阪府)を相手に係争中の事件である「ベルデさかい」では、二〇一九年虐待事件が発生したが、上層部は組合員三人を含む現場からの情報提供に耳を傾けないばかりか「正義感で言っているだけ」と内部通報者を攻撃する状況があった。そのため同施設の設置者である堺市に公益通報

●ケアワーカーズユニオン堺 虐待事件公益通報 つぶしに裁判闘争

三人の看護師である組合員が、社会福祉法人三篠会(本部は広島県)傘下の大阪府堺市立重症心身障害者(児)支援センター「ベルデさかい」(大阪府)を相手に係争中の事件である「ベルデさかい」では、二〇一九年虐待事件が発生したが、上層部は組合員三人を含む現場からの情報提供に耳を傾けないばかりか「正義感で言っているだけ」と内部通報者を攻撃する状況があった。そのため同施設の設置者である堺市に公益通報

●女性委員会『島に生きる』上映会 ミサイル基地と抗う 石垣島の闘いに学ぶ

五月三十日、全労協女性委員会、ドキュメンタリー映画「ミサイル基地がやってきた」島で生きる」を上映し、沖縄・石垣島で二〇二三年三月に開設された陸上自衛隊ミサイル基地に抗う島民の闘いの映画を見て、戦後八〇年の日本と東アジアの平和について意見交換をした。

石垣市には自治基本条例という独自の条例があり、有権者の1/4の署名が集まれば市長は「所定の手続きを経て住民投票を実施しなければならぬ」とされているが、二〇二二年六月市議会にて削除される。「石垣市住民投票を求める会」は二〇一八年、一月月で有権者の1/3を超え署名を集めた。しかし石垣市は住民投票を実施していない。「求める会」は署名をしてくれた人たちに伝えるため裁判で闘い続けている。



富士産業社前で春闘決起集会

●全労働者組合富士グループ分会 一人ひとりの声を 反映させた職場環境を

昨年引き続きお忙しい中、5・23富士産業春闘決起集会に六十人もの仲間の皆様にご結集頂き誠に有難うございました。

私自身は今回が初めての集会参加となりましたが、当該のみならずこれだけの多くの仲間が居るんだと感じた時に「共に闘おう」と強く決意が固まりました。未だに富士産業ではパワハラが止ま

ならず、新人からベテランまで上司による過度なハラスメントを受け、退職に追い込まれているのが現状です。今のままでは社員は上司の機嫌を守る事でしか自身を守ることが出来ず、「NO」と言えるのは私たち組合だけです。

これまで団体交渉等で、年間休日を増やすなど職場改善を行いました。現在は組合のみですがお互いの足を引っ張りあう原因であり、業務内容や勤務態度すら知らない仲間の評価をしなければならぬ多面評価制度の廃止を実現しています。



中ノ島メーデーで訴える

性委員会幹事 加藤照代

組合は、福岡県労働委員会

記者 末永弘美

●全国一般ユニオン北九州 仰星学園の不当解雇撤回 現職復帰へがんばります

北九州市の私立学校「仰星学園」は、不登校の生徒を対象とした高等学校です。不登校に特化した高校であるため、教員は専門的なスキルが求められます。しかし、時間外手当の未払いやワンマン理事長の一方的な人事など、劣悪な労働環境により、多い年で半年以上の教員が退職しているのが現状です。

事務長として働くAさんは、二〇二三年秋、突然に降格され、理事長室への入室禁止を一方的に言い渡されました。給与も減額され、冬季賞与や期末手当も大幅に減額されました。Aさんは、自分の身分と権利を守るため、労働組合を通じて問題解決を図ろうとユニオン北九州に加入しました。学園に対し団体交渉の申し入れを行ったところ、一カ月後には解雇を通告されました。しかも、解雇理由は、それから一カ月してからようやく提出されました。解雇理由は、Aさんについての悪口三昧で、虚偽の内容も多く含まれています。明らかに、組合員を排除しようとする不当労働行為そのものです。

組合は、福岡県労働委員会 記者 末永弘美